

第55回東京スイミングセンター優秀選手招待水泳競技大会

二次要項（競泳競技）

本大会は、中学1・2年生が公益財団法人日本水泳連盟インターナショナル・ナショナル選手標準記録突破対象大会に指定されている。詳細は、日本水泳連盟ホームページを確認すること。

○参加状況

参加団体 366団体 参加選手 3,271名（招待選手22名） 種目数 8,573種目（招待選手98種目）

○全体スケジュール

| 期日 | 開門時間 | 予選競技 | | 決勝競技 | | 閉門時間 | |
|-------|-----------|---------|--------------------------|---------|---------|---------|---------|
| | | 競技開始 | 競技終了 | 競技開始 | 競技終了 | | |
| 公式練習日 | 10月30日(水) | 14 : 00 | 練習時間 (14 : 00 ~ 18 : 00) | | | | 18 : 30 |
| 1日目 | 10月31日(木) | 7 : 10 | 9 : 00 | 15 : 19 | 15 : 40 | 18 : 03 | 18 : 30 |
| 2日目 | 11月1日(金) | 7 : 10 | 9 : 00 | 14 : 43 | 15 : 10 | 18 : 01 | 18 : 30 |
| 3日目 | 11月2日(土) | 7 : 10 | 9 : 00 | 14 : 47 | 15 : 10 | 17 : 39 | 18 : 10 |
| 4日目 | 11月3日(日) | 7 : 10 | 9 : 00 | 14 : 20 | 15 : 30 | 17 : 25 | 18 : 00 |
| 5日目 | 11月4日(月) | 7 : 10 | 9 : 00 | 13 : 29 | 13 : 45 | 15 : 46 | 17 : 00 |

1. 競技について

- 本競技会は、2024年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- 競技は、予選・決勝とも10レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- 予選は区分に関係なく全区分で行う。
- 決勝は予選の結果、区分に関係なく上位10名が出場できる。区分別決勝は決勝進出者を除く各区分上位10名とする。なお、棄権者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。
- 決勝進出において、同記録で定員を超えた場合は、スイムオフを行う。ただし、400m以上の種目及び区分別決勝競技、補欠順位は抽選により決定する。スイムオフ実施時刻の決定および決勝進出の抽選は予選のランキング発表後15分以内に、リゾリキュションデスクにて該当選手または所属責任者の立会いのもとで行う。なお、15分以内に該当選手または所属責任者が現れない場合は、スイムオフ出場または抽選を棄権するものとみなす。スイムオフまたは抽選を棄権した選手は、決勝進出の補欠には該当しない。
- エントリー数が10名以下の場合でも予選競技を行う。
- 招集は競技開始15分前から招集所（別紙「会場図」を参照）で行う。本人確認のために、招集所にはA Dカードを持参すること。招集所受付で水着の確認を行う。
- 予選を棄権する場合は、実施当日の8時30分までにリゾリキュションデスクに棄権届出用紙を提出すること。指定時刻までに棄権届出用紙の提出がない場合は1種目あたり棄権料 3,000 円を徴収する。
- 決勝の棄権はできない。やむなく棄権する場合は、該当予選競技終了後30分以内にリゾリキュションデスクに1種目につき棄権料 3,000 円を添えて決勝棄権届出用紙を提出すること。指定時刻までに決勝棄権届出用紙を提出しなかった場合は無断棄権とみなす。
- すべての競技において無断で棄権した場合は、棄権料とは別に1種目につき 3,000 円の罰金を徴収する。
- 棄権料・罰金に関して、当該選手が所属する団体は連帯してその責務を負う。
- 決勝以外の競技のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに横から退水する。50m種目、背泳ぎおよび各種目最終組は、完泳後速やかに退水すること。決勝は横退水とする。ただし、競技の進行状況によって退水方法を変更する場合がある。
- バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自で行い、確実に固定されていることを確かめること。背泳ぎにおいてバックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。
- 800m・1500m自由形における周回通知は、水中ラップカウンターを折り返し側に設置し、コールは行わない。
- ゴールタッチはタッチプレートの有効面に確実にタッチすること。
- 予選は組のみの紹介、区分決勝は各レーンで紹介、決勝は入場ゲートにて選手紹介を行う。
- 選手は退水後、係員の指示に従いミックスゾーンを通り退場すること。また、取材要請がある場合はミックスゾーンにてインタビューを実施する場合がある。
- 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
- 本大会は上訴審判団を設置する。

2. 表彰について

- (1) 各種目1位～3位にメダルを授与する。
- (2) 各種目1位～8位に賞状を授与する。
- (3) 最も優秀な成績を収めた選手に田畑政治杯を授与する。
- (4) 優秀な成績を収めた各区分、男女1名に優秀選手賞を授与する。
- (5) 最終日の全競技終了後に優秀選手表彰式を行う。ただし、最終日の優秀選手表彰式に出席できない選手は選考対象外とする。
※メダル・賞状は2階選手席出入口にて、大会期間中に受け取ること。

3. ADカードについて

- (1) ADカードは各団体にてホームページよりダウンロードして団体の承認印を押印の上、出場選手およびチームスタッフに配布すること。(A4サイズでプリントして4分割する。プリントはモノクロでも可)
- (2) 選手ADは大会期間中選手1名につき1枚とし、必ず記名すること。
- (3) チームスタッフ用ADは1団体2枚に加え、出場選手10名につき1枚発行できる。ただし、合計10枚を上限とし、追加発行はできない。
- (4) チームスタッフADは団体スタッフに限り使用できる。選手の家族や友人などの使用は禁止する。
- (5) ADカードは記名されている選手またはチームスタッフ専用とし他者への流用は認めない。
- (6) 会場内では常時ADカードを携帯すること。
- (7) ADカードを収納するケースは各自用意すること。(折らずに収納できるサイズを使用すること)
- (8) ADカードは参加団体の責任において規定に則り発行すること。不正発行および不正使用を確認した場合は、当該団体を退場処分とする。

4. 入退場について

- (1) 大会期間中は、7時10分に開場しチームスタッフ(各団体1名)、その他監督、コーチ、選手の順で入場する。※必要以上に早く来場しないこと。
- (2) 入退場口は、別紙会場図を参照すること。※監督、コーチ、選手は2階東側。一般、保護者は2階西側。
- (3) 入場時にADカードを提示すること。
- (4) 天候等の状況により開場時刻および入場方法を変更する場合がある。

5. 控え場所について

- (1) 控え場所は別紙会場図を参照すること。指定区域外への立ち入りを禁止する。
(通路等への敷物は、一切禁止とする)
- (2) 荷物やカード・紐などでの場所取り行為を禁止する。一定時間以上放置された荷物類は、忘れ物として撤去する。また敷物は一切、禁止とする。
- (3) 観覧席のチェーンまたは柵等で仕切られている場所は、立ち入らないこと。
- (4) メインプール更衣室は更衣のみとし、ロッカーの使用はできない。また、荷物を放置しないこと。
- (5) サブプール更衣室は使用できない。

6. プールの使用について

- (1) メインプール
 - ① 水深3m、水温27.5度に設定する。
 - ② ウォーミングアップは、競技開始15分前までとする。
 - ③ ウォーミングアップ時のダッシュレーン・ベースレーンの設定は通告および電光掲示板で案内する。
ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
 - ④ 公式スタート練習は行わない。
 - ⑤ パドル・コード類・フィン・シュノーケル等の使用は禁止する。
 - ⑥ 決勝前のウォーミングアップは、当日の指示に従うこと。
 - ⑦ 練習中はホイッスルの使用を認める。
- (2) サブプール(長水路)
 - ① 水深2m、水温28.5度に設定する。
 - ② パドル・コード類の使用は禁止する。
 - ③ ホイッスルの使用を認める。
 - ④ 0～7レーンを周回レーン、8レーンを招待選手レーン、9レーンを低年齢専用レーンとする。
- (3) ダイビングプール
飛込競技を行うため使用できない。

7. 抗議

- (1) 本競技会は上訴審判団を設置する。
- (2) 競技に関する抗議は、競泳競技規則第 16 条による。

8. 公式練習について

- (1) 10月30日(水) 14時00分から18時00分まで大会会場で練習できる。
※メインプールのみ使用可能
- (2) 入場方法は「4.入退場について」に準ずる。
- (3) 入場は、選手・チームスタッフ AD カード所持者のみとする。一般の入場はできない。
- (4) 更衣は、メインプール更衣室を利用すること。ただし、ロッカーの使用はできない。
- (5) 荷物は個人またはチームの責任で管理すること。
- (6) プール利用方法は電光表示板に掲示する。
- (7) 練習中はホイッスルの使用を認める。
- (8) 指定されたエリア以外は立ち入り禁止とする。
- (9) プールサイドは一部設営作業を行っているので注意すること。

9. 監督者会議について

監督者会議は行わない。

10. 競技結果(速報)およびスタートリストについて

- (1) 会場で競技結果の貼りだしは行わない。
- (2) 競技結果および決勝スタートリストはプログラム番号ごとに速やかに東京都水泳協会のホームページに公開する。

11. 大会参加にあたっての同意事項について

- (1) 悪天候・自然災害または感染症流行等により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場取消となった場合でも申込金は返金しない。
- (2) 公益財団法人日本水泳連盟および公益財団法人東京都水泳協会が定める規則等を遵守すること。

12. その他

- (1) 応援・観覧のための入場は、東京スイミングセンターホームページに記載されている【競技会関係者席ADカード発行】(Peatix)から申込を完了すること。
(2階席での観覧となり、座席からの撮影は可とする)
※3階席はADカードがなくても入場ができる。ただし、観覧席には限りがある。
3階席で撮影する場合は、撮影用ADカードを東京スイミングセンターホームページよりダウンロードしておくこと。
- (2) プールサイドは室内履きに関し限り使用を認める。
- (3) 忘れ物は、チーム受付にて保管する。最終日競技終了後、破棄する場合がある。
- (4) チーム荷物は、チームの責任において所定の場所に置いていくことを許可する。
所定の場所に置いていない荷物は、撤去する。
- (5) 貴重品は各団体の責任において管理すること。
- (6) 事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
- (7) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。
- (8) 駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑にならないように気を付けること。
- (9) 東京アクアティクスセンター前や近隣への路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。悪質な場合は、警察と連携し対応する。
- (10) 東京アクアティクスセンターの駐車場を利用する場合は、事前に東京スイミングセンターホームページを確認し申請すること。
- (11) スーツケースを持参する選手・チームスタッフは、所定の場所(チーム受付付近)に置くことを許可する。
- (12) 東京スイミングセンターホームページに記載されている大会情報を確認すること。
- (13) 各クラブ2階受付(コーチ・選手観覧席側入口付近)にて、チーム受付をすること。
- (14) 競技会申込みの領収書は、チーム受付にて受け取る。駐車場の領収書は、チケットブースにて受け取る。
- (15) 観覧席通路に敷物を敷くことは、一切禁止とする。また、通路でメディシンボール等の道具は使用しないこと。

13. 問い合わせ先

東京スイミングセンター優秀選手招待水泳競技大会実行委員

Tel 03-3915-1012

Mail tsc-invitation@tokyo-sc.com